

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

## 第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番(代表)

ガバナー(第2640地区) : 岡本 浩

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.com/okamoto/>

E-mail : [okamoto2640@athena.ocn.ne.jp](mailto:okamoto2640@athena.ocn.ne.jp)

会長: 辰 正博 幹事: 池永隆昭 広報委員長: 中川 澄 編集者: 米澤邦明

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

2017年9月8日(金)第1766回

卓話 「元国際線客室乗務員が語る

世界の食事情」

卓話者 食文化研究家 藤沢しおり様

紹介者 木畑 清 会員

今週の歌 「それでこそロータリー」

「浜辺の歌」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

### 次週の例会

2017年9月22日(金)第1767回

卓話 「未定」

卓話者 城岡 陽志会員

### 前回の例会

2017年9月1日(金)第1765回

卓話 「新世代フォーラム」

卓話者 澤井久和新世代委員長

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースディソング」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(9月)

那須宗弘会員 澤井久和会員

米澤邦明会員 徳田稔会員

北側 和代様 小西恵子様

米澤 洋子様

○結婚記念祝い(9月)

北側一雄会員

<9月1日(金)の出席報告>

会員数 31名

出席会員 19名

欠席会員 12名

ゲスト 1名

ビジター 0名

7月7日(金)の出席率 90.32%



ロータリー:  
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリー: 変化をもたらす」

国際ロータリー会長 イアン・ライズリー (オーストラリア・SandringhamRC)

## 卓 話

「新世代フォーラム」

新世代委員長 澤井久和



### ★ロータリー110年の歴史

最初に、ロータリーの励起子の概略を見ることから始めたいと思います。ロータリーは1905年に始まり、2005年にはロータリー創始100年を祝いました。そして今年で110年を超えました。その間、卓越した理念と素晴らしい価値観を基に、私たちは地域社会や国際社会で各種の奉仕活動を積み重ねてまいりました。しかし、激動する世界社会の中であって、これから将来へのロータリー活動はかなり難しい舵取りが必要になってくると思われます。

まず、ロータリーの時代的変遷をみますと、ロータリーの歴史を25年毎に区切ることが出来ると思います。1905年からの約25年間の「創始期」に始まって、「受難期」、「拡大期」、「発展期」と25年毎に区切られます。現在ではロータリー活動は質的にも量的にも拡大し、今や地域社会だけでなく、全世界的にロータリー活動が進展しています。

### ★青少年活動の開始

これを青少年奉仕活動に限ってみてみますと、丁度、ロータリーが始まって50年を過ぎた頃、1970年代に青少年奉仕活動は始まりました。この頃、組織が確立し、本格的に活動の本質を転換し、財団活動も活発になり、活動の視野を内外に向け始めた時代です。

実質的には、青少年奉仕活動（障害児への奉仕活動等）は1920年代から行われていますが、インターアクト・ローターアクト・GSE活動等の開始は1970年代から始まっています。1962-63年度にローターアクトが始まり、RYLAの公式開始は1970年-71年度です。

### ★RYLAの始まり

それによりますと、RYLAの始まりは、公式には1971年ということですが、実際には1959年、オーストラリアのクイーンズランド州が自治権獲得100周年記念式典を開催した時、エリザベス女王の名代としてアレクサンドラ女王が派遣されました。

これを機に、開催地ブリスベンのロータリークラブが主催して、アレクサンドラ女王と同年代の青年たちを集めてセミナーに参加を勧めました。これがとても評判がよくて、ブリスベンのロータリアン達はこの催しを毎年行うことにしました。これがRYLAのはじまりです。

## 会長の時間

会長 辰 正博



本日は防災の日です。台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、昭和35年（1960年）に閣議了解により制定

されました。

最近ではより防災に対する心構えを推進するために、9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日から9月5日まで）が「防災週間」と定めています。

9月1日という日付は、大正12年（1923年）9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』に由来しています。

自然災害が多発する日本において、防災はすべての人が考えなければならない重要な課題になっています。特に7月から10月までは台風などの災害が増える時期であり注意が必要です。

しかし、最も日本で注意すべき災害は地震です。なぜなら他の災害は気象予報など発達により、かなりの確率で事前に回避もしくは対処できるものになっていますが、地震だけは発生することはわ

かっていても、いつどこで起こるのがわからないからです。

最近でも皆さんご存じの様に東日本大震災、熊本地震など大きな被害をもたらした地震が発生しています。

大阪は幸いと言いますか、阪神大震災以降、大きな災害にあうこともなく台風などの水害もすくなく比較的安全に生活できる場所になっています。

しかし、和歌山、三重の南部には南海トラフという、近いうちに大地震が発生する可能性が高い場所があり、もしそこで地震が発生した場合は大阪の大部分でも震度6程の揺れと5mほどの津波がくると予想されています。

そのため大阪でも地震に対しての対策を考えることは重要だと考えます。

対策としては、まず家の中の家具などの転倒防止の金具固定やガラスなどに飛散防止シートを貼るなどの対策が重要です。

していないと家具などの下敷きになり命の危険な状態になります。

また大地震の場合には水道、ガス、電気などの各種ライフラインが寸断されることがありますので余裕と保管場所があれば、食料品や飲料水、カセットコンロ、電池など備蓄品を1週間分ほど備蓄するのが理想と言われています。

しかし、実際そこまで準備することは難しいと思いますので、最低限の準備として市販の防災グッズなどに常備薬、ラジオ、貴重品など入れる準備をして、いつでも持ち運びできるようにしておきましょう。

また、実際に逃げる場合には役所が公開している避難地図などをあらかじめ確認しておき、スムーズに避難できるように準備するのがベストだと思いますが、実際には仕事などでいろいろな場所へ行くと思いますので、日頃からもしもの時にどう行動するのかのイメージトレーニングなどを心がけましょう。

来週の9月5日には第6回の大阪880万人訓練があります。

11時地震が発生したとの想定で11時3分に訓練用のエリアメールが各自の携帯電話に届きま

す。その時には漠然とメールが来たと思わずに、いざという時には、あわてないでどう行動するかと考えることも重要だと思います。

## 委員会報告

### 国際奉仕委員会

国際奉仕委員 宇瀬治夫



今回、綿谷会員と共に、8月25日(金)～8月27日(日)の日程で、8月26日(土)開催の日本三大花火大会、秋田県大曲に行ってきました。

RI3350 地区チェラナコンRC

2008年～2009年ガバナー ドクタークライン御夫婦はじめ、同じ3350地区ブラカノンRC2018年～2019年ガバナー ナカリン御夫婦、中村様一行9名の来日と合流致しました。

色々とお土産話はあるのですが、最初に、秋田県のロータリークラブ秋田中央ロータリークラブをご紹介します。会長石川正美様・幹事の中村瑞樹様、会員数38名創立して26年のクラブです。今回はバナーが少々不足の為、秋田のクラブの方達には後日必ず送りますと、御辛抱していただきました。

25日夕食は3クラブ合同による歓迎晩さん会が開かれました。会場は創業130年の老舗「亀清」市内でも有名な歓楽街の通称川(かわ)反(ばた)地区(秋田市大町)5代目店主、雑賀会員のもと、秋田名物のフルコース、きりたんぼ・はたはた等、何と言っても秋田は清酒の宝庫です。中でも新政酒造N06この酒は月に3本しか、手に入らないそうですが、それを2本見事に飲んできました。個人的には高清水も美味しい酒です。これは従妹の受け売りですが。

お話は沢山あるのですが、いい話は短い。

以上、秋田中央ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。

田舎はいいですね、…故郷秋田に感謝。

## ホームページ委員会

### 「リニューアルから10日が経過」

ホームページ委員長 池田茂雄



このたび、リニューアルオープンしました当クラブのホームページですが、リニューアルから10日が経過いたしました。多くの方々からのアクセスをいただき有難うございます。

会長の挨拶と、先日撮影しました会員皆様の集合写真を、ともに「ブログ&ニュース」のページにアップいたしましたので、まだの方は是非ご覧いただきたく存じます。

また、トップページにつきましても、すばらしいデザインに生まれ変わっておりますことを申し添えます。

まだまだ、行き届かない箇所もありますが、できるだけ早く、見ていただき易いものになるよう努めてまいりますので、今後ともアクセス等ご支援のほど宜しくお願いいたします。

## 広報委員会

### 「マナババ・シュレスタ様

#### 元米山奨学生の歓迎会開催」

広報委員 池田茂雄

9月1日(金)午後6時30分より「すし亭 幹」において、元米山奨学生マナババ・シュレスタ様の歓迎会を開催いたしました。当クラブ会員14名の参加により、終始なごやかな雰囲気の中、国際親善の輪を広げることができました。

マナババ・シュレスタ様は、1989年4月(平成元年)に米山奨学生としてネパールから来日され、大阪府立大学において勉強されました。当クラブがカウンセラーとしてお世話をさせていただき、1年後にめでたく学業を終えられてネパールに帰国されました。

今回、「世界米山学友会」の会合が熊本において開催され、ネパール米山学友会代表として来日さ

れました。帰国以来27年ぶりに当クラブを訪問していただきました。米山奨学生として来日しました当時、日本のことが分からない私に、とても温かくして下さった堺北ロータリークラブの皆さま、ほんとうに有難うございましたとお言葉に、会員一同、大変感激いたしました。

現在、お二人のお子さまに恵まれ、ご主人が経営する建築設計事務所において、お手伝いをされているとのこと。日本に出発する前に、ウェブサイトを通して堺北ロータリークラブのホームページをご覧になり、事前にメールをいただきました。マナババ様は、ネパールでロータリー米山学友会のお世話をされており、また、現地の人々への奨学金制度の普及を図るなど支援活動をしておられるとのこと。

今回の来日を機会に、マナババ様と堺北ロータリークラブとのご縁が続けられますよう、そして、ロータリークラブを通して国際親善の輪が深まり広まることを誓い合いながら帰国の途につかれました。

S A A

田中 眞琴様

いつもお世話になり有難うございます。永年、父・朝彦がお世話になり有難うございます。4年前に胃癌を発症し、胃の1/3が癌にむしばまれておりましたが、移転が無く、全摘手術が成功し、4年経過致しました。先週1年毎の検査がございましたが、全く異常が見られず、毎日焼酎漬けですが、血液検査も正常状態でした。4-5年前からの痴呆も進行はあまりしておらず、本人自身は快適な生活を送っております。たまに小西様に連れて頂いてロータリークラブも楽しんでいるようです。先日は北輪会のゴルフコンペに出席させて頂き有難うございます。ダブルペリアというルールのおかげとご一緒させて頂きましたメンバーの皆様のおかげを持ちまして優勝というあまり縁の無い賞を頂き感謝しております。その気持ちを寸志ながら、ニコニコに寄付させていただきますので、貴クラブの奉仕にお役立て願います。

## 幹事報告

- 中田 学会員 那須会員先日の清心寮夏期研修会  
有難うございました。
- 澤井久和会員 本日、卓話10分で終わります。  
悪しからず。
- 米澤邦明会員 辰会長の卓話の中で、地震は確にいつ  
起こるか分かりません。最近では  
ミサイルも注意しないといけませ  
んね。
- 田口 隆会員 互輪会で山ノ内賞いただきました。  
次回もよろしく。

合計 22,000円

- (1) 今週の配布物
  - ・週報 ・8月号月信
- (2) 幹事報告
  - ・当クラブ9月15日例会は休会となります。
- (3) 他クラブ例会変更のお知らせ
  - ・高石ロータリークラブ  
9月19日(火) →休会  
10月10日(火) →休会  
例会場所(南海グリル) 振替休日のため
  - ・堺おおいずみロータリークラブ  
9月20日(水) →定款第6条第1節により  
休会



ゲン・ティ・フーン様  
9月度米山奨学金授与



9月度奥様誕生祝い  
小西会員奥様、  
おめでとうございます。



R13350 地区タイ王国  
秋田中央 RC・堺北 RC  
バナー交換



マナババ・シュレスタ様歓迎会

## ポリオ撲滅に挑むパラリンピアン

ナイジェリアの村で過ごした幼少時、デニス・オグベ氏はただただ、ほかの子どもたちとスポーツをしたいと感じていました。

しかし、仲間に入れてと言ったところで、きっと無視される。それどころか、なじられ、嘲笑の的になる。彼はわずか 3 歳のとき、マラリアの治療を受けているときにポリオウイルスに感染し、腰から下がまひ状態となりました。

しかし彼は、幼少期に味わった屈辱が、  
身体の強さを取り戻すための力になったと話します。  
子どもたちに松葉杖を取られ、サッカーがしたいなら  
歩いてごらんと言われたこともあるでしょう。  
それでも彼は強い意志をもって歩こうと努力し、  
左足に局部まひが残ったものの、車いすや杖がなくても  
歩けるほどの強靱な右足を鍛え上げました。



円盤投げと砲丸投げで数々の記録を打ち立てた  
パラリンピアン、デニス・オグベ氏

生まれ変わった体で、オグベ氏はあらゆるスポーツができるようになりました。

ただ、当時のナイジェリアで障がい者が参加できるスポーツは、砲丸投げ、やり投げ、重量挙げを含む陸上競技のみでした。

彼はいずれの競技でも抜きん出た成績を挙げ、ナショナルチームメンバーに抜擢。2000 年のシドニーパラリンピックに晴れて出場しました。

これが、一つの転機となりました。彼の才能に目をつけた米国の陸上競技コーチが、米国留学と、そこでパラリンピアンとして活躍するチャンスを与えたのです。

オグベ氏は、ルイビル(ケンタッキー州)のベラーメイン大学に奨学金留学し、学士号と MBA を取得しました。

現在は米国市民となったオグベ氏。円盤投げと砲丸投げで数々の記録を打ち立て、その名は世界的なパラリンピアンとして広く知られるようになりました。

今日、彼はポリオ撲滅活動の支援者としても活動し、国連財団の”Shot@Life“キャンペーン大使として予防接種の推進に力を注いでいます。

ロータリーと米国疾病対策センターによる共催で行われたアトランタ(米国ジョージア州)での 2016 年世界ポリオデーでは、ビデオで紹介されました。

<https://www.rotary.org/ja> My Rotary より抜粋